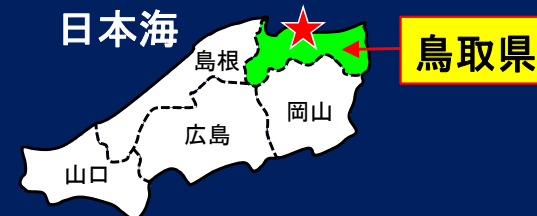


萌える海藻！鳥取県の豊かな海を育む大作戦

日本海



鳥取県

申請主体：鳥取県の豊かな海を育む協議会

(鳥取県、鳥取県漁業協同組合、田後漁業協同組合、赤碕町漁業協同組合、鳥取県栽培漁業協会)

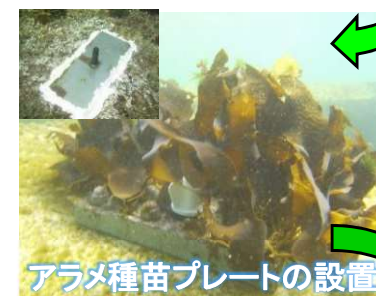
■ プロジェクトの概要



- ・鳥取県では、自治体、漁業団体との協働により、**アラメ藻場造成活動**や**ウニ類の駆除**を実施し、藻場を守っています。
- ・鳥取県沿岸域には、従来、アラメの生育繁茂は認められなかったが、二酸化炭素の吸収、水質浄化の機能、多年生の大型海藻であることに着目し、昭和59年からアラメの種苗生産と移植に取り組んできました。
- ・高水温や食害による藻場の衰退が懸念される中、40年間に渡るアラメ移植の取組により、鳥取県の広い海域で、現在、アラメ藻場が形成されています。
- ・令和5年には、鳥取県西部の御来屋地区でドローン、水中カメラによる分布調査を行い、豊富なアラメ母藻群落が発見されることが確認されました。



アラメ種苗の土台設置



アラメ種苗プレートの設置



アラメ母藻群落の形成



ムラサキウニの駆除

■ 対象



- ・アラメ藻場 R5年度認証量 4.2 t-CO₂/年(鳥取県大山町御来屋地区東部)

■ 特徴・PRポイント



- ・近年、ムラサキウニの大量発生が問題になっていますが、**漁業者**や**ボランティアダイバー**が鳥取県の指導のもと、効果的なウニ駆除を行っています。ここから**多くの人のつながり**が生まれています。
- ・取得したクレジットの販売収益は、アラメ等の種苗購入やウニ類等の駆除などの経費にあて、持続的な藻場形成のサイクルを生み出します。